

厚生労働省岩手労働局発表  
令和5年6月30日（金）

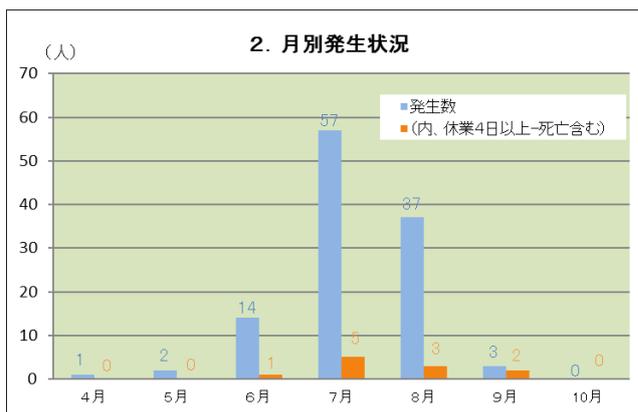
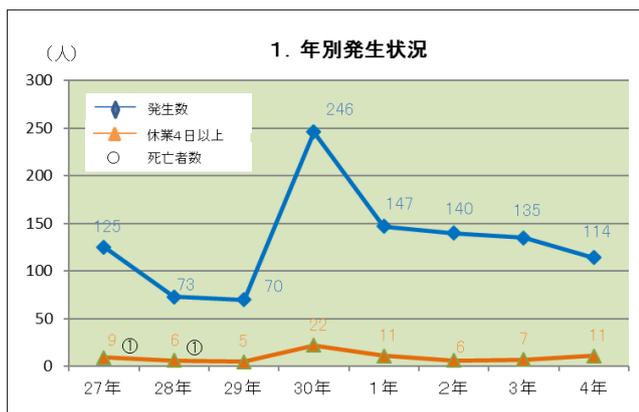
【照会先】

岩手労働局労働基準部健康安全課  
課長 若月 敏幸  
課長補佐 藤元 佳能  
(電話) 019-604-3007

7月は「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」重点取組期間です

～暑さ指数の把握と必要な措置、健康状況の確認、教育、発症時・緊急時の措置を徹底～

令和4年の岩手県内の職場における熱中症の発生状況



厚生労働省では、職場における熱中症の発生を防止するため、5月から「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」を展開しておりますが、特に熱中症の発生リスクが高まる7月を「重点取組期間」として、事業者に対し、取組の徹底を呼び掛けています。

この時期は、岩手県内においても、気温や湿度が高い中で働く機会が多くなり、例年、事業場で熱中症の被災者の発生が多くなっています。

岩手労働局では、「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」の重点取組期間には、

- ◎ 暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じ対策を追加
- ◎ 暑さ指数に応じた作業の中断等を徹底
- ◎ 水分、塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底
- ◎ 作業開始前の健康状態の確認を徹底、巡視頻度を増加
- ◎ 熱中症のリスクが高まっていることを含め教育を実施
- ◎ 体調不良の者に異常を認めたときは、躊躇することなく救急隊を要請

という事項についての徹底を推進することとしています。

なお、岩手労働局管内の熱中症による労働災害の発生状況の概要については別紙のとおりです。

## 県内の熱中症の発生状況のポイント

## 1 令和4年の発生状況（別添1参照）

## ア 月別発生状況

4月から9月の期間に発生しています。

## イ 年代別発生状況

30代と40代が最も多く、20代、50代、60代と続いています。

## ウ 時間帯別発生状況

午前11時台と12時台、次いで午後1時～2時台に多く発生しています。

## エ 業種別発生状況

建設業が34%、次いで製造業が18%を占めています。

## オ 休業日数別発生状況

休業0日が80%、休業1日～3日が10%、休業4日以上が10%となっています。

## 2 平成27年～令和4年の熱中症発生状況（別添2参照）

## ア 年別発生状況

平成27年～平成29年は、70件から125件の間で推移していましたが、平成30年は急激に発生件数が増加し、246件を記録しました。令和元年以降は100件を超える状況ではあるものの少しずつ減少傾向となっています。

## イ 月別発生状況

7月～8月に全発生件数の85%が発生しています。

## ウ 年代別発生状況

20代が最も多く、次いで40代、50代、30代、60代と続いています。

## エ 時間帯別発生状況

午前11時台と午後2時～3時台に多く発生しています。

## オ 業種別発生状況

建設業が半数以上の51%を占め、次いで製造業が16%となっています。

## カ 休業日数別発生状況

休業0日が74%、休業1日～3日が19%、重篤な容態となるケースは少ないですが、死亡を含む休業4日以上が7%となっています。

## 3 死亡災害発生状況（平成6年～平成28年）（別添3参照）

## ア 年別発生状況

平成6年から平成28年までの23年間で、8人の労働者が熱中症を原因として亡くなっており、平成22年以降の7年間では5人が亡くなっています。

なお、平成29年以降は熱中症による死亡労働災害は発生していません。

## イ 月別発生状況

発生月は、7月が4人で半数を占め、次いで8月の2人となっています。

平成13年の事例のように、5月に亡くなったケースもあります。

## ウ 業種別発生状況

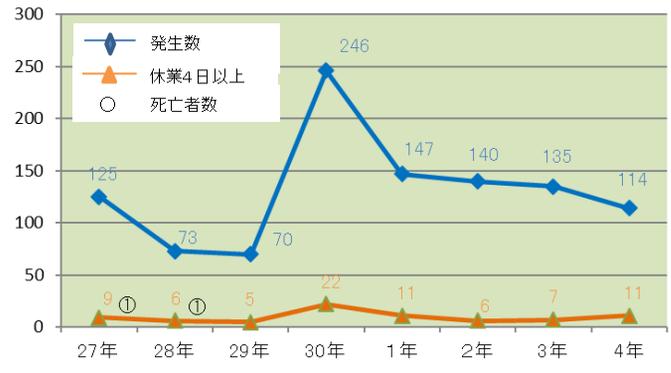
「建設業」が4人で半数を占め、次いで「商業」の2人となっています。

## エ 年代別発生状況

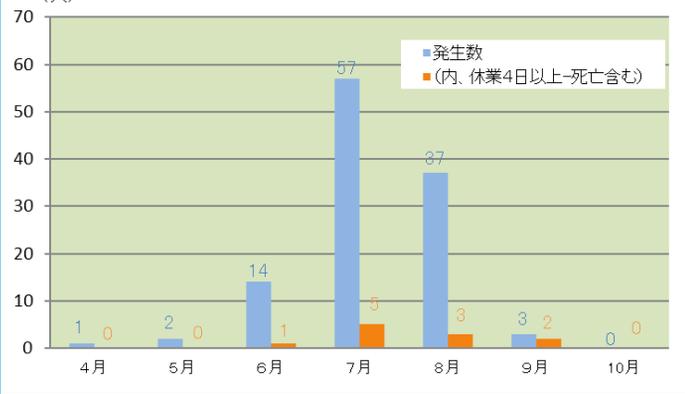
20代、30代、50代、60代が2人ずつとなっています。

# 岩手県内の職場における熱中症の発生状況(令和4年)

### 1. 年別発生状況



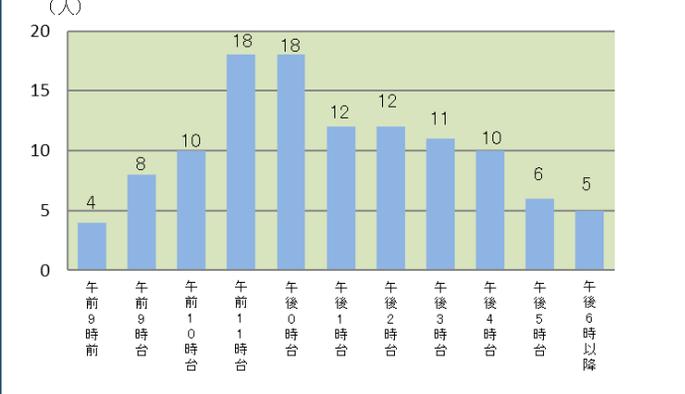
### 2. 月別発生状況



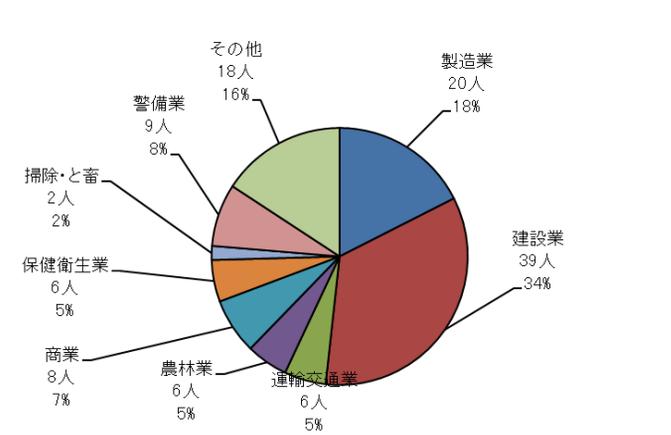
### 3. 年代別発生状況



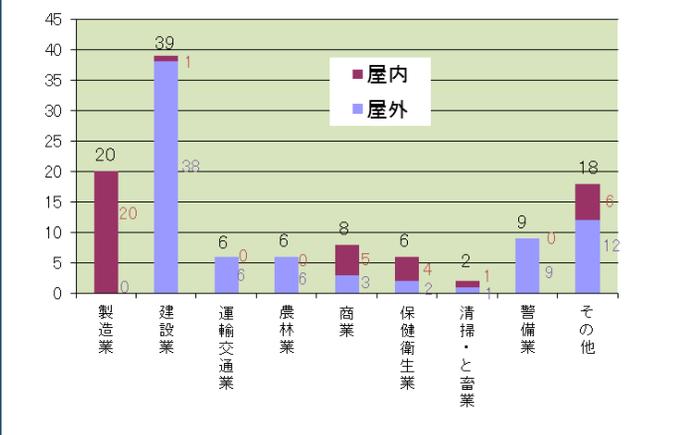
### 4. 時間帯別発生状況



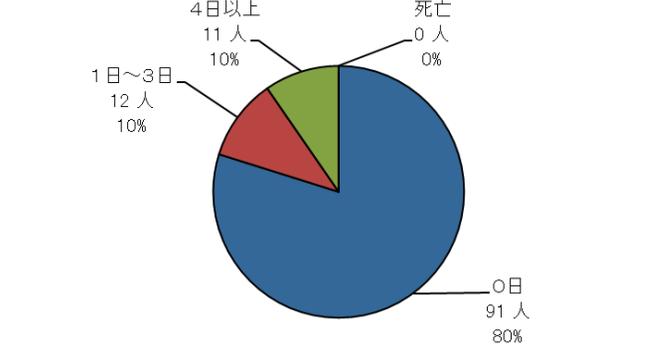
### 5. 業種別発生状況



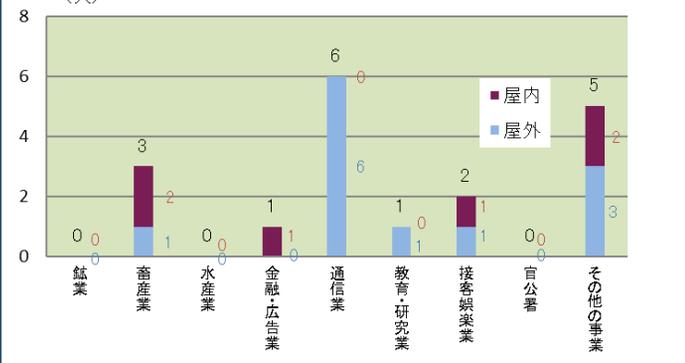
### 6. 場所別業種別災害発生状況



### 7. 休業日数等

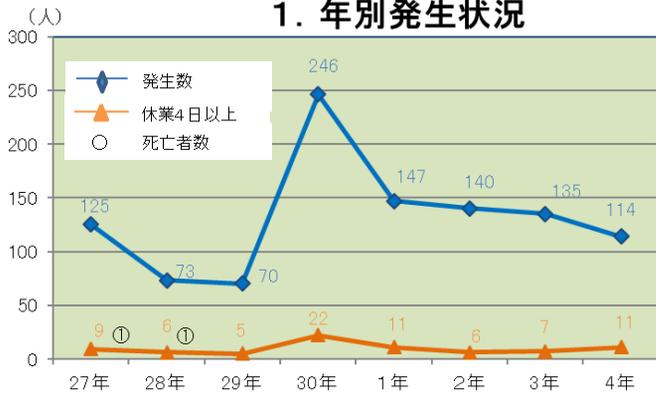


### 8. その他の業種の内訳

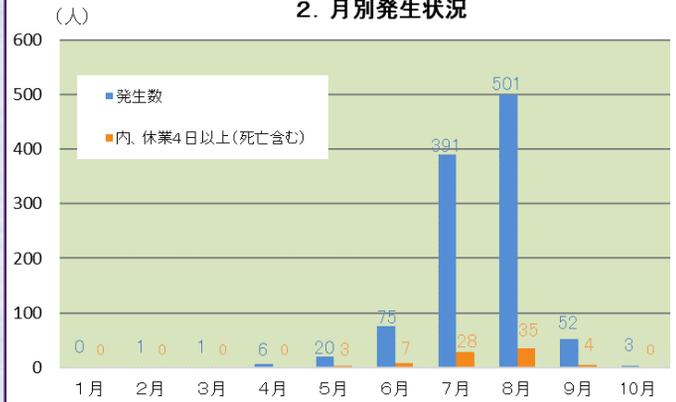


# 岩手県内の職場における熱中症の発生状況(平成27年から令和4年)

## 1. 年別発生状況



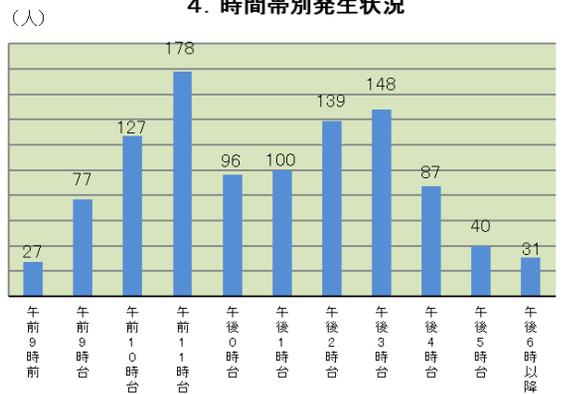
## 2. 月別発生状況



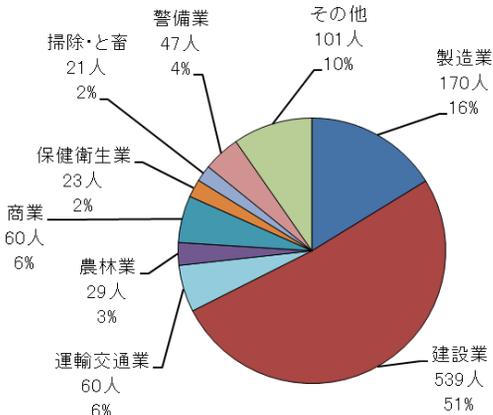
## 3. 年代別発生状況



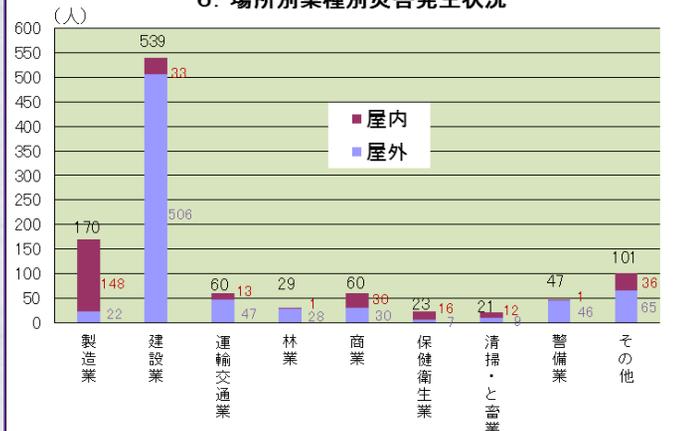
## 4. 時間帯別発生状況



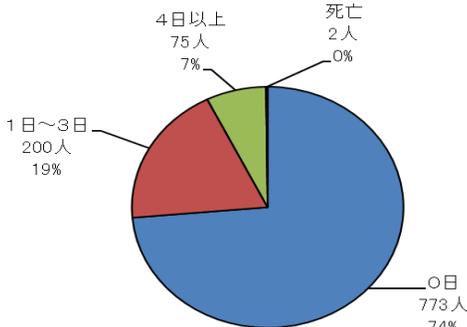
## 5. 業種別発生状況



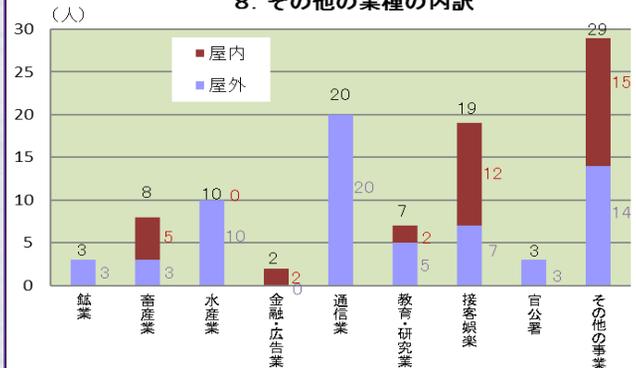
## 6. 場所別業種別災害発生状況



## 7. 休業日数等



## 8. その他の業種の内訳



## 熱中症による死亡災害発生状況（平成6年～平成28年）（令和5年3月31日現在）

岩手労働局

番号	署別	業種	発生月	曜日	性別	年代	災害発生の概要
1	盛岡	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業)	平成6年 8月	水	男	60代	炎天下でマンション工事のスラブ鉄筋配筋作業中、日射病となり治療を受けていたが、12日後に死亡した。
2	一関	林業	平成11年 7月	木	男	20代	下刈り作業中、昼時間になっても休憩場所に戻らないので作業場所に見に行ったところ、意識混濁で発見され、病院へ搬送したが、同日死亡した。(推定原因:熱中症)
3	盛岡	建設業 (その他の建設業)	平成13年 5月	火	男	60代	送電線に近接する支障木の伐木を行っていたところ、熱射病により死亡した。
4	二戸	建設業 (その他の土木工事業)	平成22年 7月	月	男	50代	橋脚の修繕工事現場において、休憩時間となり休憩場に行く際に、被災者が余った材料を抱えて階段を降りていたところふらついていたため、休憩場に寝かせて体を冷やす等の措置を行っていたが、その後、被災者が道路の方へ歩き道路に倒れたことから、救急車で搬送したが、熱中症により死亡した。
5	宮古	商業	平成22年 7月	水	男	50代	故障したトラックの修理のため走行後のエンジンの上に跨った状態の高温下で故障箇所のアーク溶接を行い、作業を終えて事務所に戻り自分の席に座ったところ、急に呼吸を乱して意識を失い病院に搬送されたが熱中症により死亡した。
6	一関	建設業 (木造家屋建築工事業)	平成24年 7月	火	男	30代	家屋の基礎の型枠加工組立て作業において、休憩中の被災者がふらついていたため現場内で休ませていたところ、被災者の呂律が回らなくなり痙攣し始めたため、救急車で病院に搬送したが、翌日に死亡した。
7	宮古	接客娯楽業	平成27年 6月	金	男	30代	海外研修中、40度以上の高温環境下で熱中症により死亡した。
8	花巻	商業	平成28年 8月	日	男	20代	屋外の展示場における洗車・清掃等の作業中に頭痛を発症し、帰宅後、就寝したが、死亡した状態で翌朝発見され、死因は熱中症とされたもの。